

2023 年度の事業計画概要

活動方針

- (1) 登山活動の山岳自然に対する環境負荷を検討し、山岳自然を美しく保ち、後世に伝えるために山岳自然保護活動を推進
- (2) 地球温暖化（気候変動）による山岳自然の現況を把握し、保護活動の推進及び他団体と連携した環境保全活動を推進
- (3) 自然保護指導員制度の普及推進を図り、且つ、自然保護指導員組織の充実強化と活動の促進
- (4) COVID-19 の感染拡大防止で中止となった令和 2・3 年度活動項目について刷新を含め再開
- (5) 上記活動を SDGs な視点から再点検し、全国の自然保護委員会と連携して活動の問題点などを検証して解決策を探るとともに成果を「見える化」し、広報していく
- (6) JMSCA 機関紙「登山月報」への「全国山岳（・SC）連盟（協会）自然保護委員会の SDGs な活動」リレー掲載をサポートする
- (7) 全国の自然保護委員会の活動を阻害するヒト・モノ・カネの不足を補うために企業協賛、補助金申請等をサポートする

事業案

(1) 研修及び研究会の企画

①2023 年度自然保護の集い（リアルおよび WEB 利用の hybrid 会議&講演会）

- ・ 2023 年 11 月 23 日を予定
- ・ 21 年度 3 月総会で検討された「自然保護委員会の SDGs な活動」としての全国規模の森林整備事業の進捗状況の確認、問題点（ヒト・モノ・カネの不足）の再検討
- ・ 全国自然保護委員会の SDGs な活動をサポートする専門家による講演会開催、多くの自然保護指導員の参加を募る

→リアル会議会場の選定、zoom ライセンスの規模拡大の必要

②2023 年度山岳自然環境研究調査

- ・ 神奈川岳連主導の下に丹沢三ノ塔での森林の再生活動
- ・ 2023 年 10 月を予定
 - JMSCA 委員が体験、その後参加者の募集範囲を広げて全国の自然保護委員会と連携、植樹や森林整備事業を展開する
- ・ 森の再生作業を進めるために不足しているヒト・モノ・カネの問題点解決を探る

③自然保護指導員フィールド研修会

- ・ 2023 年 6 月上旬、三つ峠
 - テーマは「稀少植物保護について」

→観察会、講演会および除草作業などのサポート

④自然保護指導員研修会（リアルおよび WEB 利用の hybrid 会議）

- ・ 2024 年 1 月を予定

- ・都岳連主管の指導員更新研修会
 - ・全国の自然保護委員長・指導員の参加者を募り、自然保護指導員としての活動を更に活発化させるための知見を深める
→リアル会議会場の選定、zoom ライセンスの規模拡大の必要
- ⑤自然保護指導員出前講座
- ・講師派遣、23年6月新潟県ほか
 - ・全国の自然保護指導員に対する活動サポートおよび都道府県山岳(・SC)連盟(協会)の山岳環境保全活動の活発化を促す

(2) 自然保護の啓発

- ①自然保護指導員制度の推進
- ・自然保護指導員の更新及び新規登録受付
- ②自然保護広報資料の出版(トイレゴミ持ち帰りパンフ増刷)
- ・山のトイレゴミゼロ(山でのトイレマナー)推進
- ③全国環境月間(6月)および山の日(8月11日)の協力
- ・毎年6月の全国環境月間および「山の日」に合わせて実施される全国の自然保護委員会の山岳環境保全活動のサポート
 - ・環境月間に実施される全国水質一斉調査に合わせ山岳・里山の沢水調査を全国規模に拡大
R5年度は東京・埼玉・神奈川等で実施
- ④環境省・自然公園指導員制度への協力
- ・自然公園指導員の推薦、活動報告のとりまとめ
- ⑤山岳団体自然環境連絡会への参加・協力
- ・隔月開催のオンライン会議に参加
- ⑥日本オリンピック委員会主催「スポーツと環境会議」への参加・協力
- ⑦加盟団体における山岳自然保護活動の集約と広報
- ・JMCA 機関紙「登山月報」への『自然保護委員会のSDGsな活動』連載
 - ・その他依頼の応じての山岳環境保全活動に関する執筆等

(3) 情報発信(今後取り組むべき課題含む)

- ① 登山月報への活動報告連載
- ② インターネットを使った情報拡散(ブログの再開など)

以上